

慶蔵院寺報

公孫樹

2025年12月発行

第167号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

TEL 0596 (22) 3726



山村御流の生け花 ツルウメモドキ 山路野菊

画 山寄淑子

十二月二十四日、地蔵堂開帳。ぜひ、おいで下さい

御祈祷、お加持の受付は、先着順に、本堂にて。

十二時から、「銀杏ご飯」をお出しします。

御祈祷、お加持の開始は、午後一時から。

できる限り一時には、お集まりください。

無料です。地蔵堂へのお賽銭は、ありがたいです。

十一月の御開帳には、十七名の方がおいで下さいました。内、太田さんと中山さんには、朝から「銀杏ご飯」を作っていただきました。また来てくださった方から、十二個も手づくりのプリンを差し入れてもらえて、デザートにいただくことも出来ました。

本堂でのお加持、一人十分を目途に務めさせて頂きました。受けている方の顔が、どんどん明るく笑顔に変わっていく姿に、感嘆し、和氣藹々とした雰囲気の中に、あつという間に、二時間の時間が過ぎていきました。

御祈祷は、受付順に、《氏名と願いごと》を書いていただき、地蔵堂で行いました。祈祷は般若心経とお念仏にて行います。人五分程度です。御祈祷後、手書きの「身代り地蔵尊名号銀杏」をもらっていただきました。

祈り、願うことは頂くことです。転重軽受と、必ず護念していただけると信じて、祈祷を受けていただきたいと思います。今回、皆さんから、こんな「お願い」がありました。

・家族が健康でありますように。

・元気で明るく楽しく生きられますように。

・病気の平癒、家内安全、健康長寿、夫婦円満、交通安全。

・首、腕、腰の痛み解消、目・耳の不調回復。

祈りこそ信仰の原点です。信仰は、人生の根っこです。「身代地蔵尊」への祈りを通して、根っこを育てて頂きましょう。

お葬儀ができた場合は、何時でもかまいません、最初に、慶蔵院にご連絡ください。電話 22-3726

12月の行事予定



3日(水)	写経会	午前 10 時～	本堂にて
7日(日)	成道会	午後 1 時～	本堂にて
8日(月) 22 日(月)	華道「山村御流」教室 講師 小森清真先生	8日 午後 1 時半～ 22 日 午前 10 時～ 22 日はお正月用のお花になります	
10 日(水)	・羊毛フェルト教室 講師 monmo 先生 ・男性詠唱隊 ・落語会「いちご亭」	午後 1 時～3 時 参加費 1500 円 午後 1 時半～3 時 午後 7 時～	一会館にて 本堂にて 一会館にて
11 日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前 10 時～11 時半 午後 1 時半～3 時 参加費 1 回 1000 円	一会館にて
17 日(水)	健康教室 講師 馬場久美子先生	午後 1 時～3 時 参加費 500 円	本堂にて
24 日(水)	戦没者慰霊・平和の鐘 地蔵講 祈願とお加持	午前 8 時頃 地蔵講 午後 1 時半～ 祈願は 10 時、お加持は 1 時～3 時	
28 日(日)	寺周辺住宅屋根・樋掃除	午前 8 時～	
31 日(水)	浄焚式・除夜の鐘	午前 2 時～浄焚式 午後 9 時～仏名会・除夜の鐘	
12・26 日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生	午後 7 時～子ども茶道教室 午後 7 時半～大人茶道教室 参加費 大人 500 円	一会館にて

螺（巻き貝）のように巻いた毛髪で、如来が有する三十二の特徴である三十二相の一つ「毛上向相」による頭髪表現のことで、彫刻や絵画で表現する場合、原則的に儀軌に準じて右巻きに表されるそうです。有名なのは、奈良東大寺の大仏（華嚴經の教主・毘盧遮那仏）で、文献上では九六六個、現在の頭部には四九二個あるそうです。右巻きです。ちなみに鎌倉大仏は六五六個の螺髪があり、左巻きだそうです。ただし大日如来には螺髪はありません。四〇五世紀頃の古代インドグプタ朝の如来像に、螺髪がみられます。唯識思想を大成させた無著・世親兄弟はこの頃の人です。

さて、なぜ螺髪は渦巻なのでしょう。私が思うに、この世界の事を表しているのではないかと。地球は北極上から見ると反時計回りに自転し、太陽の周りを同じく反時計回りに公転しています。太陽は天の川銀河の中心を時計回りに回っています。アンドロメダ星雲なども渦を巻いて回っています。また、螺髪ひとつひとつの宇宙を表していて、螺髪の数だけ宇宙があるのではと。仏教では大きな数は、たくさんを意味するので無限にあるのではないかと。ミクロの世界に目を向けると、素粒子も右巻きや左巻きで回っているそうです。それぞれ反対の性質を持っています。

（文 麻畑公生）

螺髪はどっち巻き

慶蔵院豆知識 part2

③1

「螺髪」



住職の健康回復への道のり(46)

十一月一日、朝起きると足が痛くて歩けない。右足の太腿に肉離れのような痛みが走り、前に進めない。かがむと、なんとか進むことが出来る。そのまま座することもでき、正座も問題なし。ところが立って、背筋をのばすとピリッと引きつる。立っていると太腿が腫れてきてジンジンする。たまたま来てくれた寺世話人(幸森如さん)がさすってくれたこの日は何とか仕事ができた。静かに座っていれば大丈夫。歩き出すと、二分ともたない。立ち止まり、さすって、前かがみになって、また歩き出す。八尾でのレントゲン、MRI、血液検査は、全て異常なし。なのに電車の中では、立っておれずに手摺に寄り掛かった。石垣院長は、この間の生活記録に基づいて、二カ月間を振り返らせてくれた。

八月末の華展での二日間の立ちっぱなし。九月、十月の二か月で四回の銀杏洗い。本堂で躓いて左目上を五針縫った怪我、十月二十六日の念仏行脚一時間半、十月三十日の司会…。これらの積み重ねが、「冷え」によって、痛みとなって現れてきたと分析。痛い個所を温めるため、貼るカイロを使うことにより二週間で回復させてもらえた。痛み止めは使わなかった。

まだ大丈夫変化について行く気概

奥田悦生

(「知恩」誌十一月号「柳壇」に掲載)

「知恩」十一月号 読者の声欄に
奥田さんの文が掲載されました!!

菩提寺である慶蔵院の恒例秋のバス旅行で今年9月に奈良の三カ寺を参拝してきました。

「知恩」誌に以前、連載も持たれていた奈良国立博物館名誉館員の西山厚・帝塚山大学客員教授に同行いただき、興福院では、所縁の江戸時代の大仏復興に携われた公慶の話、また白毫寺では、阿弥陀様に極楽往生を願い、閻魔王で地獄のさまを思い、地獄に落ちた時のために地蔵菩薩に救済をお願いできるお話をお聞きいただきました。



さらに長岳寺では、画面いっぱい描かれている九幅から構成されている十王図を前にご住職からの興味深いご法話を聴かせていただき、有意義な一日となりました。

伊勢市 奥田悦生

落語会「いちご亭」

十二月十日(水) 午後七時〜慶蔵院「一会館」にて

出演 法話 慶蔵院住職 紙切り 安楽亭小東風

落語 南遊亭栄歌 安楽亭東風

安楽亭小東風(小学二年・晋之介君)の紙切り、好評です。お楽しみに!!



「大晦日 除夜の鐘」に

お参りください!!



十二月三十一日(水)

午後二時〜浄焚式

九時〜礼拝・念仏

十一時四十分〜除夜の鐘

甘酒・ぜんざい・粕汁や

福引もあります。

お餅も焼けます!

鐘を撞く順番は九時〜受け付けます。

今年の成道会は
4人のゲストです!!

十二月七日(日) 午後一時から

「成道会」は、お釈迦様のお悟りをお祝いし、私たちがこの世を、明るく・楽しく・仲良く・幸せに生きることが出来るようにと願って行われる法要です。

一時〜法要…男性詠唱隊

一時半〜柳本さん…嚙下の予防

二時〜安楽寺の東風さん…落語

二時半〜金谷さん…春日八郎歌

三時〜真寛さん…人形・紙芝居



念佛は
祈られて
育てられてきた
私が
祈りの中で
永遠の
いのちを
つなぐるとき
格也

三ページ、奥田悦生さんが投稿された「バス旅行記」に、西山厚先生からお聞きしたお話がまとめられています。西山先生は、こんなふうにはなしてくださいました。

「みなさん、何かの手違いで、もし地獄に落ちることがあったら、よく耳を澄ましていてください。地獄にはお地藏さんがいて、歩き回っておられます。どこにおられるかは、お地藏さんの持つておられる錫杖の音でわかります。シャンシャンと音がしてきたら、そのもとへ、まっしぐらに走って行って、助けをもとめるのです。きっと、願いを受け止め、地獄から救い出してくれますから…」と。

錫杖とは、十月の大念仏、午前中の下小俣内の念仏行脚の際に、先頭の中村定一さんが持つて歩いておられる棒状の仏具です。この世を歩くお地藏さんの姿です。

慶蔵院の「身代地藏尊」は、この現世に居てくれて、私たちと一緒に歩んでくださっているお地藏さんなのです。「如来のいまさざるところ無きが故に、いま現にここにましますことを信じて…」と、まつ毛のように、見えないけれども、目の前に、現におられるのです。「身代地藏尊」を祈り、恩寵をいただいたならば、必ず私たちの願いが成就されると確信しています。

一ページで十二月二十四日(水)の地藏堂開帳のお知らせをしています。十二時からの「銀杏ご飯」は先着順に食べていただけます。無料です。用意した分だけしかありませんから、早い目においでください。ご飯には、皆さんを、お迎えしてくださる方々のお気持ちが入っています。これを頂戴できるだけでも、元氣とエネルギーをいただくこと、間違いないです。日頃の喧騒から離れて、ゆっくりした時間が流れる一日を「身代地藏尊」と、ともに過ごされてはいかがでしょう。一時からの幸森如さんのお話もぜひお聞きください。